

# 令和6年度 中四国学生剣道リーダーセミナー報告書

「中四国を担うリーダーとしての資質の向上を図る」



担当：中四国学生剣道連盟 副幹事長 薄木 智也（香川大学）

## 実施要項

日程：令和7年3月7日（金）～10日（日）

会場：国立江田島青少年交流の家

〒737-2126 広島県江田島市江田島町 1-1-1

TEL：0823-42-0660

主催：中四国学生剣道連盟

実行委員：薄木智也（実行委員長：香川大学）他中四国学生剣道連盟学生役員 18名

担当先輩役員：門脇一則先輩、原川琢至先輩、石井博貞先輩

## 実施日程

7日（金）

実技研修、パソコン研修、学生交流会

8日（土）

日本剣道形講習、審判講習、web研修、レクリエーション

9日（日）

交流試合

令和7年3月7日から9日にかけて国立江田島青少年交流の家において中四国学生剣道リーダーセミナーが開催されました。たくさんの大学にご参加いただき、感謝しております。また、門脇一則先輩、原川琢至先輩、石井博貞先輩にはお忙しい中お越しいただき、学生へのご指導ありがとうございました。この度のリーダーセミナーの詳細についての報告書を作成させていただきましたので、ご査証のほどよろしく願いいたします。

## ○1日目

### ・実技研修

リーダーゼミナール初日の実技研修は原川先輩（周南公立大学）の指導のもと行われた。最初に原川先輩からお話をいただき、これからの自大学での稽古法、リーダーとしての自覚を考えさせられるものであった。

素振りは、大学の普段の稽古でも必ず最初に行うものであるが、最も基本的で当たり前のことだからこそ、様々な意識を高く持つことが重要であると改めて感じる事ができた。素振り一つ一つ、一本一本の大切さを感じる事ができた。

面を付けての稽古では、基本打ちを中心に行った。面を付けるまでの素振りの稽古とのつながりがすごく感じられ、稽古を通しての意識の一体化を感じ、質の高い稽古を体感する事ができた。初日の実技研修では、どのような稽古内容であっても、高い目標と意識を持つことの重要性を考える事ができた。



### ・パソコン研修

パソコン研修では石井先輩の指導のもと google drive を用いてのそれぞれの大会への申し込みの方法についての詳しく講習が行われた。どの大会においても申し込みの際し、何らかの訂正が入り、主催大学に迷惑をかけてしまっている。このパソコン研修を行ってくださっている意義を考え、記入漏れや記入ミス、締め切りの厳守など当たり前のことを当たり前に行えるようにしていきたい。

## ○2日目

### ・日本剣道形講習

2日目の午前の部は門脇先輩の指導のもと日本剣道形の講習が行われた。普段の稽古から形の稽古を取り入れている大学は少なく、多くの学生が段審査の前に行う程度であった。今回の講習では、剣道形の重要性や面をつけての稽古との結びつきなどを指導していただいた。

何種類もある形のの一つ一つを基礎から教えていただき、体の使い方、一本一本の意味などを教えていただき、学生たちは自分たちの頭でしっかりと理解したうえで取り組むことができた。



### ・審判講習

午後の部は門脇先輩、原川先輩のご指導のもと審判講習が行われた。

審判の基礎知識をご享受いただいた。審判の立ち位置の確認や一本の見極め、販促の見極めなどを実際の試合を通して学んだ。審判の上達が自分の剣道の上達につながると言われるように、審判の重要性を学ぶことができた。

練習試合や部内での試合練習など、さまざまに審判をする機会があると思うが、今回学んだことを活かしていきたい。



## ・web 研修

2日目の学連員パソコン研修は、OBである石井先輩のご指導のもとでの研修であった。内容としては、今後の大会に必要なアプリなどのダウンロードを行い、それぞれの大学が主管を務める大会のホームページをしっかりと管理できるようにし、次回大会の新しいホームページの作成や大会の忘れ物などの写真のアップの仕方などを学んだ。選手権大会、優勝大会、新人戦、リーゼミ、4つの大会ともそれぞれに行うことがあり、異なったことをするので、4大学が1つ1つ責任をもって説明を受けた。大会を運営するだけでなく、各試合の申込書の作成、あるいはホームページ作成など、様々な分野において丁寧に説明を受けた。一から大会を作り上げ、またスムーズに大会を進めていくにあたって、私たち学連員がこのパソコン研修を受け、中四国学生の中の主軸となり、より質の高いものに仕上げていかなければならない。また、これから新生が入るに当たって、どんどん代わりしていくが、先輩方からしっかり受け継いで中四国がより良くなるように励んでいきたいと思う。中四国学生剣道連盟のホームページは数多くの人が見るので、正確かつ分かりやすく情報を掲載しなければならない。そのために、しっかりと確認をし、もし誤りがあれば、間違っただけでなく、直ちに修正を入れることが重要だと学んだ。オープン大会も近づいており、その研修も行われた大きな行事の実行委員の一員になれることを誇りに思い、責任を持って今後も取り組んでいきたい。



## ○3日目

### ・リーゼミ選手権

このリーダーゼミナールの最終日には、3日間を通して行ってきた実技研修のまとめとしてリーゼミ選手権を行った。この大会のチーム編成は男子2名、女子1名の3人制で、メンバー決めはくじ引きによって行われた。即席で決められたチームであるが故に、すぐに息を合わすことは難しいかもしれないが、そんなときにも、すぐにコミュニケーションを取り合い、試合に向けて最大限の準備を怠らないことはチームの先頭に立つリーダーに求められる資質の一つであり、今後の人生にも役に立つ能力かと思った。2日目のレクリエーションでチームの交流を図り交流を深めていたため、全チーム試合前から和んだ雰囲気であったように思う。試合前には各チームそれぞれにアップを行い、わずかな時間の中でも共に体を動かし、そこでもチーム間の交流を深めた。

試合は、前日に編成されたチーム同士の試合とは思えないほど白熱し、普段は他大学のライバルである人達と同じチームで戦うことができるのはこのリーゼミ選手権の醍醐味である。チームごとにポジションから考え、どうすれば男女ともに勝つことができるか作戦を練っていた。男子と女子が試合をしても男女ともに積極的に一本を取りに行く姿勢が見えた。その中で勝ち進んだチームはチーム内で試合前に話し合い、それぞれの役割を果たすように努力していた。

どのチームも持ち味を活かし、お互いを高め合えることができるような試合をしていたように思う。

今回参加した学生は、この大会で学んだことを各大学に持ち帰り、チーム内で共有して、今後の大会に活かしていくことが重要であるように感じた。

